

野村グローバル・ロング・ショート

追加型投信/内外/資産複合/特殊型(絶対収益追求型)



【当ファンドの投資リスク】 ファンドのリスクは下記に限定されません。

ファンドは、株価指数先物取引、債券先物取引等を実質的な取引対象としますので、株価変動、金利変動等の影響により基準価額が下落することがあります。また、債券等を実質的な投資対象としますので、債券価格の変動等の影響を受け、基準価額が下落することがあります。また、外国為替予約取引等を活用しますので為替変動の影響を受け、基準価額が下落することがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

お申込み・投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は

SBI証券

商号：株式会社SBI証券
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号
加入協会：日本証券業協会／一般社団法人金融先物取引業協会

ファンドのポイント

1

内外の短期有価証券に投資し安定した収益の確保を目指すとともに、世界主要国の株価指数先物取引、債券先物取引および為替予約取引を活用し、日本円短期金利を上回る収益の獲得を目指して積極的な運用を行ないます。

2

定量モデル*1による市場データの精緻な分析により、各国の株式・債券・通貨の均衡水準*2を推計し、市場価格の割高・割安を判断します。

3

市場価格を割安であると判断した場合、ロング・ポジション(買い建て)を、割高であると判断した場合、ショート・ポジション(売り建て)を構築し、収益の獲得を目指します。

*1 定量モデルとはファースト・クオドラント社(First Quadrant L.P.)の開発したGlobal Tactical Asset Allocation(グローバルな戦術的資産配分。GTAA)モデルおよびTactical Currency Allocation(戦術的通貨配分。TCA)モデルです。

*2 均衡水準とはGTAAモデルおよびTCAモデルを活用し独自に推計した、各投資対象の適正と考えられる価格水準のことをいいます。

先進主要国の先物等で運用

先進主要国の株価指数先物、債券先物、為替予約等を積極的に活用します。

	株価指数先物	債券先物	為替予約
フランス	CAC40先物		ユーロ
イタリア	FTSE MIB先物		
スペイン	IBEX35先物		
オランダ	AEX先物		
ドイツ	DAX先物	ドイツ国債10年先物	
スイス	SMI先物		スイスフラン
スウェーデン			スウェーデンクローナ
英国	FTSE100先物	英国国債10年先物	英ポンド
米国	S&P500先物	米国国債10年先物	米ドル
カナダ	S&P/TSX60先物	カナダ国債10年先物	カナダドル
豪州	ASX SPI200先物	豪州国債10年先物	豪ドル
ニュージーランド			ニュージーランドドル
香港	Hang Seng先物		
日本	TOPIX先物	日本国債10年先物	円

・世界各国の株価指数先物12銘柄、債券先物6銘柄、為替予約9通貨を取引対象とします。

上記は2013年9月末時点のものであり、今後変更となる場合があります。

定量モデルによる規律ある投資判断

定量モデルによるファンダメンタル分析により各国の株式・債券・通貨の均衡水準を推計し、市場価格の割高度・割安度を判断します。

定量モデルの開発・改良は定量的運用で定評のある米国ファースト・クオドラント社が行ない、ポートフォリオ構築・取引の執行は野村アセットマネジメントが行ないます。

運用方針の策定

野村アセットマネジメント

定量モデル

ファースト・クオドラント社

ポートフォリオの構築

野村アセットマネジメント

ポートフォリオの見直し

野村アセットマネジメント

ファースト・クオドラント社

- 米国カリフォルニア州パサディナ市に本社をおき、ボストンにも拠点構える。
- 定量的運用に特化した米国の運用会社で20年超の実績を持つ。
運用資産残高は約165億米ドル(約1兆6,155億円*)。*2013年9月末現在1米ドル=97.91円で換算
- 日本では、1990年から野村アセットマネジメントと提携をスタート。大手年金等の機関投資家を対象に、20年以上の実績を持つ。

上記は2013年9月末時点のものであり、今後変更となる場合があります。



各種指数・為替と参考運用実績(パフォーマンス比較)

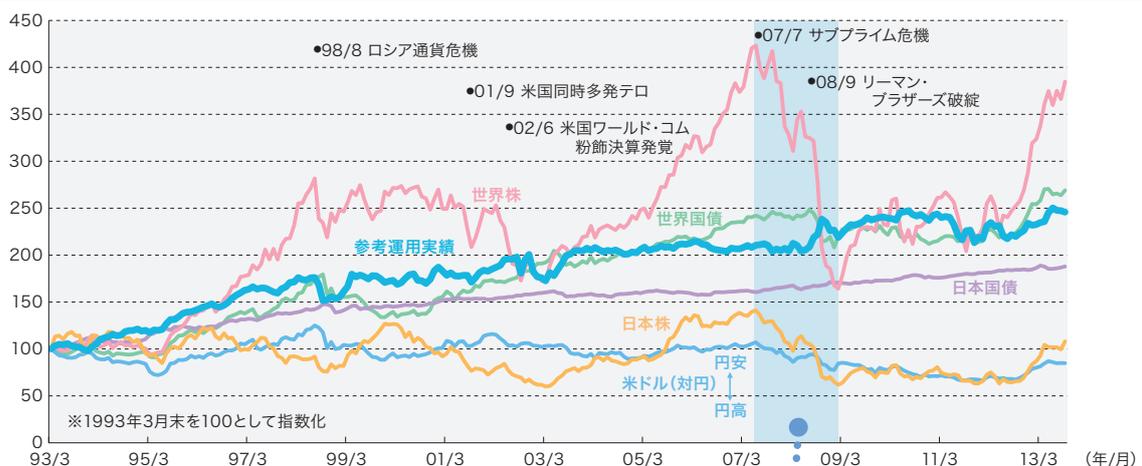
参考運用実績は、ファンドのイメージをつかんでいただくためファンドで使用する定量モデルの過去の実績にファンドの信託報酬の基本報酬額(年率1.6275%、税込)と成功報酬額(ハイ・ウォーターマークを超過した分の20%)を控除して算出したものです。

1993年3月末～2003年12月末の期間は各月末の定量モデルの判断実績を基にパフォーマンスを計測し、これに月次で基本報酬額と成功報酬額を控除して算出しています。なお、売買手数料、その他の諸費用等は考慮していません。2004年1月以降はファンドの主要投資対象とする「グローバル・アセット・モデル・ファンド マザーファンド」の運用実績を基に日次で基本報酬額と成功報酬額を控除して算出しています。

他の資産と比較して、参考運用実績は概ね安定したパフォーマンスとなりました。

[各種指数・為替と参考運用実績のパフォーマンス]

(期間:1993年3月末～2013年9月末、月次)

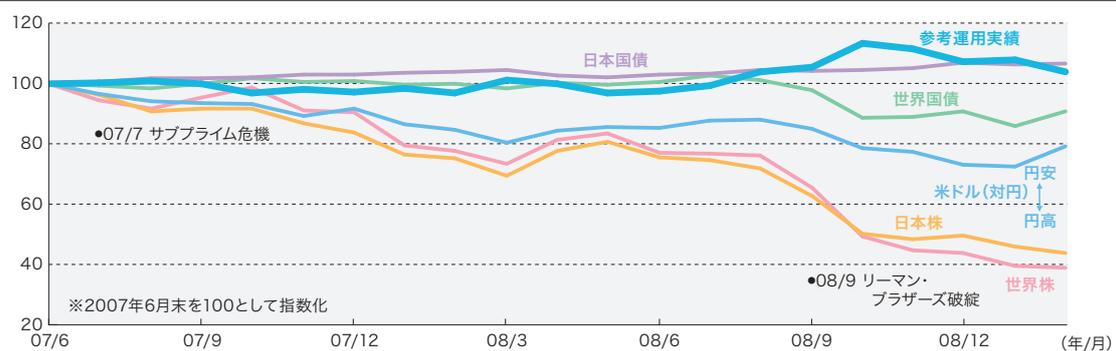


使用した指数については最終ページの「当資料で使用了した指数について」をご参照ください。
(出所)ブルームバーグ等のデータを基に野村アセットマネジメント作成

世界株の高値からの最大下落局面においても参考運用実績はプラスのリターンを得ました。

[世界株の最大下落局面*におけるパフォーマンス]

(期間:2007年6月末～2009年2月末、月次)



	参考運用実績	世界株	日本株	世界国債	日本国債	米ドル(対円)
2007年6月末～2009年2月末	3.9%	-61.2%	-56.2%	-9.1%	6.4%	-21.0%

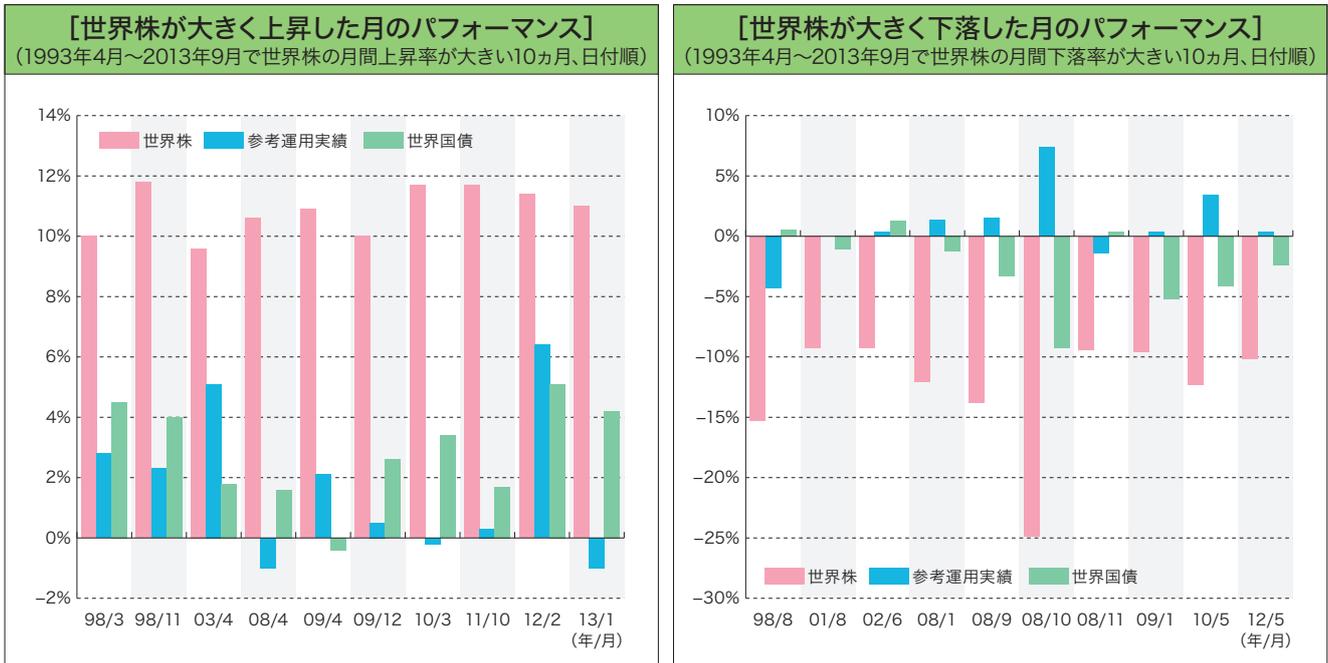
* 1993年3月末から2013年9月末の期間において、それまでの最高値から最も大きな下落幅を記録した局面を示しています。

使用した指数については最終ページの「当資料で使用了した指数について」をご参照ください。
(出所)ブルームバーグ等のデータを基に野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。
また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

パフォーマンス比較

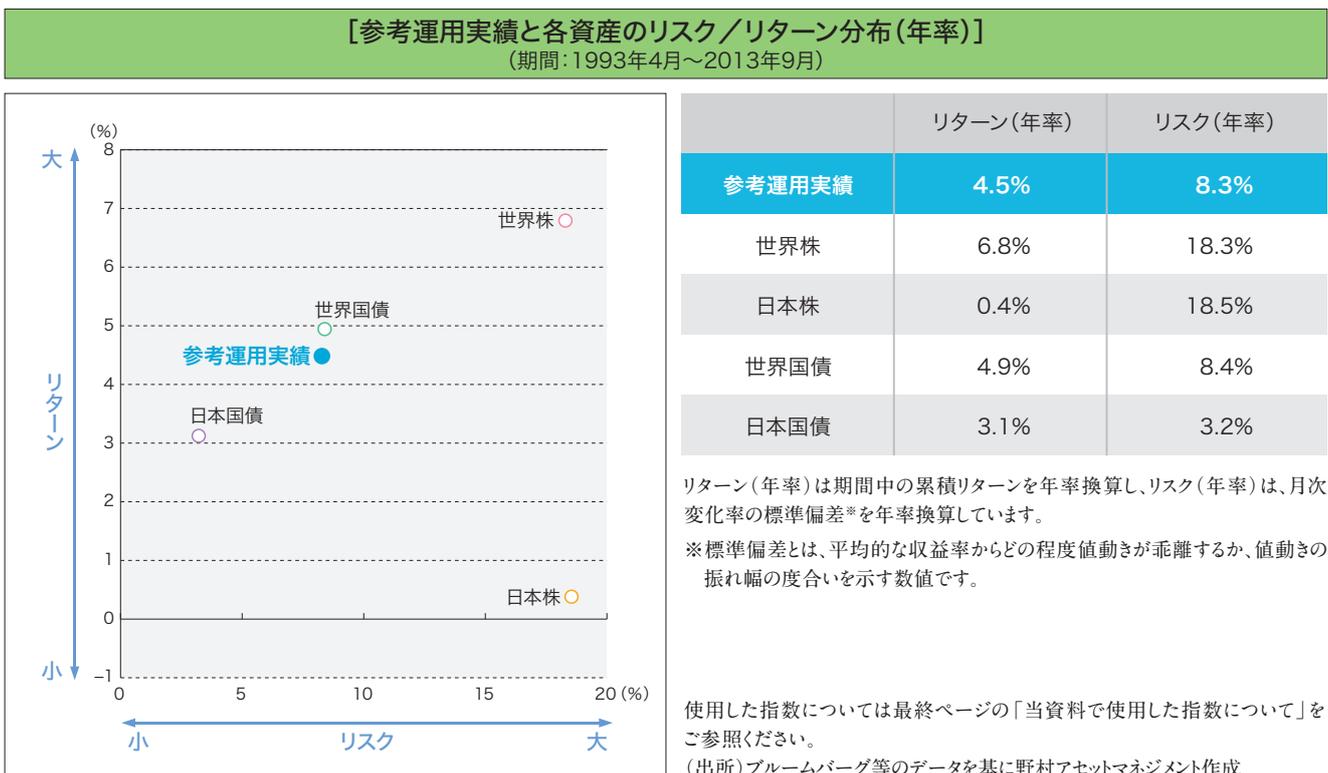
世界株が大きく上昇・下落した局面においても、参考運用実績は、概ね追従しないパフォーマンスとなりました。



使用した指数については最終ページの「当資料で使用した指数について」をご参照ください。
(出所) プルームバーグ等のデータを基に野村アセットマネジメント作成

リスク/リターン分布

参考運用実績は、世界国債と同程度のリスクとリターンになりました。



上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。
また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

長年にわたる安定した実績

参考運用実績は、ファンドのイメージをつかんでいただくためファンドで使用する定量モデルの過去の実績にファンドの信託報酬の基本報酬額(年率1.6275%、税込)と成功報酬額(ハイ・ウォーターマークを超過した分の20%)を控除して算出したものです。

1993年3月末～2003年12月末の期間は各月末の定量モデルの判断実績を基にパフォーマンスを計測し、これに月次で基本報酬額と成功報酬額を控除して算出しています。なお、売買手数料、その他の諸費用等は考慮していません。2004年1月以降はファンドの主要投資対象とする「グローバル・アセット・モデル・ファンド マザーファンド」の運用実績を基に日次で基本報酬額と成功報酬額を控除して算出しています。

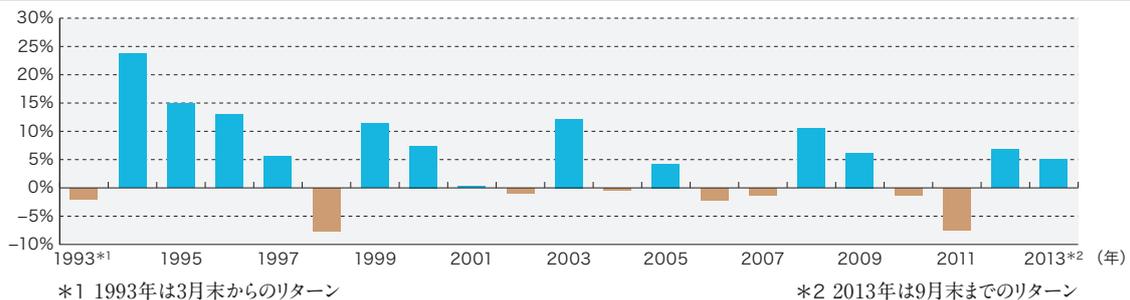
年金などの機関投資家から長年にわたり信頼されてきた、安定した実績があります。

【参考運用実績のパフォーマンス】(期間:1993年3月末～2013年9月末、月次)



マイナスのリターンとなる年もありましたが、様々な市場環境の変化の中でも概ねプラスのリターンをあげました。

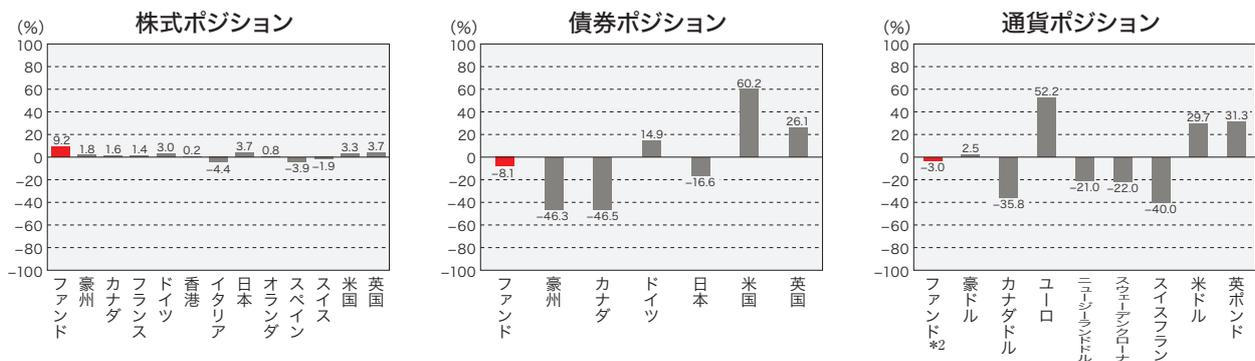
【参考運用実績の年別リターン】(期間:1993年*1～2013年*2)



上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。
また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

ファンドの資産内容

【組入資産状況・純資産比(マザーファンド比率修正後)】(2013年9月末)



株式・債券のネット・ポジション*1の合計 1.1%

*1 ネット・ポジションとは、ロング・ポジション(買い建て)の合計と、ショート・ポジション(売り建て)の合計との差額の事です。

*2 ファンドの通貨ポジションとは、外貨ポジションの合計(対円)の事です。

・各ポジション(配分)は、マザーファンドの純資産比とファンドが保有するマザーファンド比率から算出しております。

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

ファンドの特色



- 1 内外の短期有価証券を主要投資対象とし、世界主要国の株価指数先物取引および債券先物取引を主要取引対象とし、為替予約取引等も積極的に活用する「グローバル・アセット・モデル・ファンド マザーファンド」を主要投資対象とします。日本円の短期金利水準を上回る収益の獲得を目指して積極的な運用を行なうことを基本とします。
- 2 ●「グローバル・アセット・モデル・ファンド マザーファンド」への投資比率は、原則として高位を維持することを基本とします。
●「グローバル・アセット・モデル・ファンド マザーファンド」を通じて、主として内外の短期有価証券に投資し安定した収益の確保を目指すとともに、世界主要国の株価指数先物取引、債券先物取引等の有価証券先物取引等および為替予約取引等の積極的な活用により日本円の短期金利水準を上回る収益の獲得を目指して積極的な運用を行なうことを基本とします。
◆ファンドは、日本円1ヵ月LIBORをベンチマークとします。
●有価証券先物取引等および為替予約取引等の実質的な活用には、Global Tactical Asset Allocation (グローバルな戦術的資産配分。GTAA) モデル及びTactical Currency Allocation (戦術的通貨配分。TCA) モデルに基づき、市場データの精緻な分析により、推定される均衡水準(「各投資対象の均衡水準」*)から時価が乖離している資産・通貨に係るデリバティブ等を買入れ、時価が均衡水準に収斂する過程での収益を獲得することを目指します。
(注)Global Tactical Asset Allocation (GTAA) モデル及びTactical Currency Allocation (TCA) モデルは、ファースト・クオドラント社の開発した運用モデルです。
※1「各投資対象の均衡水準」とは、GTAAモデルおよびTCAモデルを活用し独自に推計した、各投資対象の適正と考えられる価格水準のことをいいます。
●実質的な資産配分については、世界主要国の株式・債券市場の中から流動性が高いと判断される市場を対象に、均衡水準(「投資ユニバースにおける均衡水準」*)より割安と判断される資産に係る有価証券先物取引等の買い建てによるロング・ポジションを、均衡水準より割高と判断される資産に係る有価証券先物取引等の売り建てによるショート・ポジションを構築し、収益の獲得を目指すことを基本とします。
※2「投資ユニバースにおける均衡水準」とは、各投資対象の割安度合い(魅力度)の平均値のことをいいます。
●実質的な通貨配分については、資産配分とは独立した通貨配分戦略により為替予約取引等を積極的に活用し、外貨建資産の為替変動リスクを回避する目的(ヘッジ目的。代替ヘッジを含みます。)のほか、効率的に収益を追求する目的(ヘッジ目的外)で活用し、均衡水準より割高と判断される通貨は当該通貨のヘッジ目的外での売予約によるショート・ポジションを構築し、均衡水準より割安と判断される通貨については買予約等によるロング・ポジションを構築することを基本とします。なお、為替予約取引等のヘッジ目的外での使用については、買予約の合計額と売予約の合計額との差額につき円換算した額はマザーファンドの信託財産の純資産総額の100%以内とします。
* 株式指数先物、債券先物の買い建てによるロング・ポジションの合計と、売り建てによるショート・ポジションの合計との差額(ネット・ポジション)が、マザーファンド純資産総額の0%程度となるように、また、外貨についてはネット・ポジションを円換算した額がマザーファンド純資産総額の±60%以内となるように、相対的な評価によるロング・ショート・ポジションを構築します。相対的な評価によりロング・ショート・ポジションを構築するため、市場価格を割安(割高)と判断した投資対象であっても、他の投資対象と比較して相対的に魅力度(割安度合い)が低い(高い)場合には売り(買い)建てることがあります。

—— 資金動向、市況動向、残存信託期間等によっては、上記のような運用ができない場合があります。 ——

投資リスク



《基準価額の変動要因》*基準価額の変動要因は下記に限定されるものではありません。

■ 価格変動リスク

ファンドは、投資対象であるマザーファンドにおいて、株価指数先物取引、債券先物取引等を積極的に活用しますので、株価変動、金利変動等の影響を受けます。なお、ファンドは、世界各国の先物取引等のロング・ポジション、あるいはショート・ポジションを構築することにより、投資対象市場の方向性によらず収益の獲得を目指しますので、投資対象市場が上昇した場合でも、収益が得られない場合や損失が発生する場合があります。また、レバレッジを利用して先物取引等を行なうことが可能なため、投資対象市場における値動きが、それ以上の損失をもたらす場合があります。また、ファンドは実質的に債券に投資を行ないますので、市場金利や信用度の変動による債券価格変動の影響を受けます。

■ 為替変動リスク

ファンドは、為替変動リスクの低減を図る目的(ヘッジ目的)のほか、効率的に収益を追求する目的(ヘッジ目的外)で為替予約取引等を活用しますので、為替変動の影響を受けます。

■ 取引先リスク

ファンドは、実質的にデリバティブ取引等を利用しますので、取引先リスク(取引の相手方の倒産等により契約が不履行になる危険のこと)があります。

《その他の留意点》

- ◆ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 資金動向、市況動向等によっては、また、不慮の出来事等が起きた場合には、投資方針に沿った運用ができない場合があります。
- ファンドが実質的に組み入れる有価証券の発行体において、利払いや償還金の支払いが滞る可能性があります。
- 有価証券への投資等ファンドにかかる取引にあたっては、取引の相手方の倒産等により契約が不履行になる可能性があります。
- ファンドのベンチマークは、市場の構造変化等によっては今後見直す場合があります。また、ベンチマークに対して一定の投資成果をあげることを保証するものではありません。
- 投資対象とするマザーファンドにおいて、他のベビーファンドの資金変動等に伴う売買等が生じた場合などには、ファンドの基準価額に影響を及ぼす場合があります。
- ファンドは、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。投資者の個別元本(追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本)の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することとなります。

お申込みメモ		
●信託期間	平成29年3月6日まで(平成23年11月25日設定)	
●決算日および収益分配	年1回の毎決算時(原則、3月5日(休業日の場合は翌営業日))に、分配の方針に基づき分配します。	
ご購入時	●ご購入価額	ご購入申込日の翌営業日の基準価額
	●ご購入代金	販売会社の定める期日までにお支払いください。
	●ご購入単位	ご購入単位は販売会社によって異なります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
ご換金時	●ご換金価額	ご換金申込日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額
	●ご換金代金	原則、ご換金申込日から起算して5営業日目から販売会社でお支払いします。
	●ご換金制限	大口換金には制限を設ける場合があります。
その他	●お申込不可日 販売会社の営業日であっても、お申込日当日が以下のいずれかの休業日と同日の場合には、原則、ご購入、ご換金の各お申込みができません。 ・英国証券取引所・ニューヨーク証券取引所 ・ロンドンの銀行・ニューヨークの銀行 ・香港取引決済所	

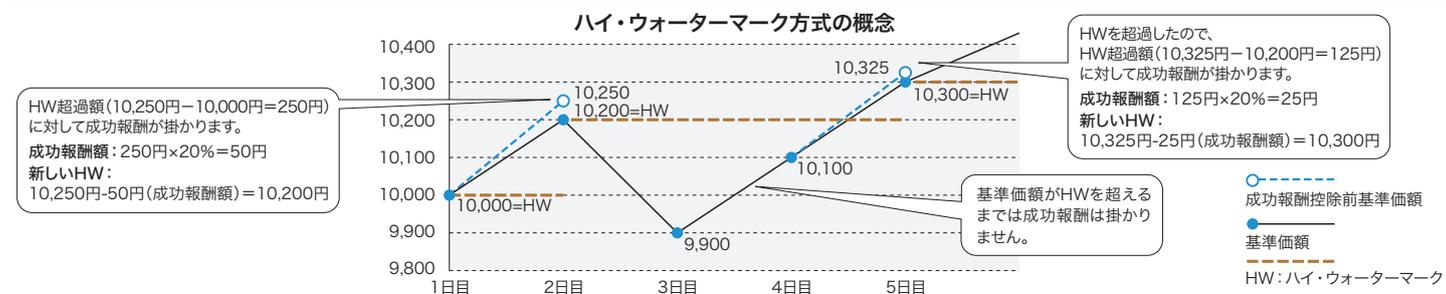
課税関係	個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の譲渡益に対して課税されます。ただし、少額投資非課税制度などを利用した場合には課税されません。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
------	--

※お申込みの際には投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。

当ファンドに係る費用 (2013年11月現在)	
●ご購入時手数料	ご購入価額に 3.15%*(1) (税抜3.0%)以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額詳しくは販売会社にお問い合わせください。 ※1 消費税率が8%となる平成26年4月1日以降は、3.24%となります。
●運用管理費用(信託報酬)	ファンドの保有期間中に、期間に応じてかかります。 信託報酬の総額は、 (1)基本報酬額に(2)成功報酬額を加算して得た額 とします。 (1)基本報酬額 純資産総額に対し、 年1.6275%*(2) (税抜年1.55%)の率を乗じて得た額 ※2 消費税率が8%となる平成26年4月1日以降は、年1.674%となります。 (2)成功報酬額 委託会社は、基本報酬額に加えて、ハイ・ウォーターマーク方式による成功報酬額を受領します。ハイ・ウォーターマーク*3とは、最高水位線のごとで、ハイ・ウォーターマーク方式による成功報酬額は、一定時点毎の基準価額が過去の一定時点における最高値*3を更新している場合、その更新している額に対応して一定の計算式で成功報酬を受領する仕組みです。 ※3 ハイ・ウォーターマークおよび基準価額の最高値は、成功報酬額の計算における実質的な運用成果に変更がないよう、対応する収益分配金、成功報酬額(消費税等相当額を含みます)に相当する額が調整されます。 ハイ・ウォーターマーク方式による成功報酬額は、毎営業日に、当該営業日の成功報酬額控除前基準価額の1万口当りの額がその時点のハイ・ウォーターマークを超えた場合には、その超過額に 20% を乗じて得た額(円未満は切り捨てるもの)とします。なお、消費税等相当額が別途かかります。)を1万で除した額に、当該営業日の受益権口数を乗じて得た額とします。ハイ・ウォーターマークは過去の成功報酬計上時のハイ・ウォーターマーク(設定当初は1万円)に円短期金利*4を日割り計上した額を加算して決定されます。 ※4 円短期金利は、毎営業日(この信託の当初設定日前日を含みます。)において入手しうる、ロンドンにおいて公表された日本円1ヵ月LIBORの直近値とし、当該営業日の翌日以降適用するものとします。なお、当該円短期金利の下限は零とします。
●その他の費用・手数料	ファンドの保有期間中に、その都度かかります。(運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。) ・組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料 ・外貨建資産の保管等に要する費用 ・ファンドに関する租税、監査費用 等
●信託財産留保額(ご換金時)	1万口につき基準価額に 0.1% の率を乗じて得た額

上記の費用の合計額については、投資家の皆様はファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。
※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

ハイ・ウォーターマーク(HW)方式について (ハイ・ウォーターマーク超過額の20%が成功報酬としてかかる一例です。)



上記はハイ・ウォーターマーク方式の概念図です。ファンドにおける成功報酬額の詳細については上記の「当ファンドに係る費用」をご参照ください。

<p><当資料で使用した指数について></p> <ul style="list-style-type: none"> ●世界株：MSCIワールド・インデックス(円ベース、配当込み) ●日本株：東証株価指数(TOPIX)(配当込み) ●世界国債：シティグループ世界国債インデックス(円ベース) ●日本国債：シティグループ日本国債インデックス(円ベース) ●MSCIワールド・インデックスは、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。●シティグループ世界国債インデックスおよびシティグループ日本国債インデックスは、シティグループ・グローバル・マーケット・インクの知的財産であり、指数の算出、数値の公表、利用など指数に関するすべての権利は、シティグループ・グローバル・マーケット・インクが有しています。 	<p><お申込みに際してのご留意事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ファンドは、元金が保証されているものではありません。◎ファンドに生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。◎投資信託は金融機関の預金と異なり、元金は保証されていません。◎投資信託は預金保険の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金制度が適用されません。◎ファンドの分配金は、投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。 ◎お申込みにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認の上、ご自身でご判断ください。
---	--

<当資料について> ◎当資料は、ファンドのご紹介を目的として野村アセットマネジメントが作成した販売用資料です。◎当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、数値、図表等は、当資料作成時のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。

(委託会社) 野村アセットマネジメント株式会社 [ファンドの運用の指図を行なう者] (受託会社) 野村信託銀行株式会社 [ファンドの財産の保管および管理を行なう者]

野村アセットマネジメント株式会社

ファンドの基準価額等についてのお問い合わせ先：
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号、加入協会：一般社団法人投資信託協会 / 一般社団法人日本投資顧問業協会

★サポートダイヤル★ ☎ 0120-753104 (受付時間) 営業日の午前9時～午後5時

★インターネットホームページ★ <http://www.nomura-am.co.jp/>

★携帯サイト★ <http://www.nomura-am.co.jp/mobile/>

